

平成 元年 11月15日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土資料室

(青梅市駒木町 1-684 Tel0428-23-6859)

資料 三田氏関係年表

鎌倉時代のころから、三田氏を名のる豪が羽村以西の青梅・奥多摩地域を支配していたことは、前号の文化財ニュースでお知らせしましたが、今回は三田氏関係の事蹟を定本市史「青梅」などの資料のもとにたどってみました。

西暦	年号	三田氏関係の事蹟。
1250年	建長 2年	御門造営課役人の連名目録中に三田入道の名が登場する。
1258年	正嘉 2年	将軍の二所詣での髓兵に三田小太郎、三田五郎が加わる。
1300年	西安 2年	勝沼の乗願寺が三田下総守長綱により創建される。
1322年	元享 2年	今寺報恩寺の鐘、三田弾正忠清綱により鑄造される。
1352年	正平 7年	石浜の合戦に尊氏側として三田常陸守が参陣する。
1395年	応永 2年	羽村一峯院、三田雅楽介将定により創建される。
1418年	応永25年	下長淵の宝林庵、三田左衛門五郎朝貞によって創建される。
1457年	長祿 元年	長淵の永福庵本尊、三田憲清によって造立される。
1463年	寛政 4年	友田御嶽神社鰐口、三田憲清によって寄進される。
1509年	永正 6年	京の連歌師宗長が勝沼を訪れ、三田氏宗・政定と交友。
1510年	永正 7年	公卿三条西実隆が三田氏宗に書状を送る。
1511年	永正 8年	御岳山の武蔵御嶽神社の社殿を三田氏宗・政定らが造立。
1511年	永正 8年	御岳山世尊寺の釈迦像、今寺報恩寺の延命地藏、塩船観音寺の諸仏像、三田氏宗・政定父子によって修理される。
~	~	
1512年	永正 9年	
1513年	永正10年	青梅の住吉神社々殿、三田氏宗・政定父子により造立。
1521年	大永 元年	根ヶ布天寧寺の銅鐘、三田政定によって鑄造される。
1531年	享祿 4年	小田原において、三田政定、連歌師宗長と交流する。
1533年	天文 2年	塩船観音寺仁王、三田政定・綱定父子が修理する。
1535年	天文 4年	鎌倉の鶴ヶ岡八幡宮の鳥居を三田政定が中心になり造立。
1536年	天文 5年	羽村の阿蘇神社、三田掃部介定重いよって修理される。
1559年	永祿 2年	三田弾正少弼、相模国酒匂郷などを所領する。
1560年代	永祿年間	北条氏照軍、三田氏の居城、辛垣城を攻撃、三田氏滅亡。

鉄砲が伝来して20年後のこと、三田氏にも一挺の鉄砲があったという。

(文責 川鍋幸三郎)